

まちづくりラボ・プロジェクトの拠点「ミントポ」の取組み

令和7年度（3月～）これまでの活動

ア 暮らしや地域活動のニーズに関する取組み

名称[開催時期]	目的及び内容
ほうかごミントポクラブ （教育委員会後援事業） [R5.12～]	子どもの居場所づくりとして、毎週水曜日の午後、カフェ店内の小上がりを近隣小学生の放課後の居場所として開放し、子どもたちの交流と遊びの場を提供。 近隣小学校の高学年児童の利用があり、宿題や工作、読書など思い思いの時間を過ごしている。 ほうかごミントポクラブを楽しみに定期的に通う地域の子供たちも一定数おり、子供たちの居場所として定着しつつある。 また、雨の日にはミントポ隣の半屋外スペースで外遊びができることも子供たちから好評である。 
Cleanup&CoffeeClub （CCC）[R7.2～ 毎月第二日曜継続開催]	ミントポ周辺を地域の繋がりを育む取り組みとして毎月開催。まちを主体的に綺麗にすることだけではなく、ゴミ拾いというアイスブレイクを通じて、地域の顔見知りやつながりを増やし、地域に一つのコミュニティや居場所に成長することを目指している。 活動が地域に根付いてきており、6月・7月はそれぞれ19名の参加があった。ゴミ拾い後の交流会では周辺をゴミ拾いをして気づいたことや、参加者の行う地域活動の告知など様々な地域的话题を共有する等、交流が生まれた。 

	
ミモザを使ったスワッグ作り(地域商店連携) [R7.3.2]	商店街の生花店との連携が発展し、季節に合わせたワークショップイベントを開催(9名参加)。参加者対話する時間を設け、地域住民とのつながりを深めている。 
イースターエッグ作りワークショップ [R7.3.23]	花育をテーマとした子供向けワークショップ。4～9歳の子供とその家族 4 組み 8 名が参加。参加者から好評で、ワークショップを定期開催してほしいと要望があった。 
クラシック演奏会 #03 [R7.4.5、7.5]	恒例イベントとなったプロのクラシック音楽家による生演奏を開催。(予約制、有料、31名の参加) ジャズが流れてくるまちの光景に、「いつもまちに音楽があれば素敵」「家から近い場所で音楽が聴ける機会があるのはうれしい」という意見を多数いただいた。 

大人を楽しむ絵本
カフェ(カフェス
ペースの場所貸し)
[R7.5.30]

地域の方からの発意によるイベント。絵本講師による大人への読み聞かせと、参加者それぞれがお気に入りの絵本を紹介した。絵本にまつわる思い出などを語り合う有意義なひと時となった。(参加者4名)



ボードゲームで遊
ぼう(カフェス
ペースの場所貸し)
[R7.7.21]

ボードゲームを使った交流イベントは、CCC(「Cleanup & Coffee Club」)常連メンバーによる企画。CCC をきっかけに、主催者の方からミントポの小上がりスペースでイベントを開催したいというご要望をいただき、企画に至った。区外からの参加者も含む7名が参加した。



苗分けの日
[R7.6.14, 15、
7.8~13]

「ミントポ菜園部」活動にて、まちや家庭に緑を増やす取り組みの一環として、ミントポで種から育てた植物の苗を地域と分け合う苗分けの日を開催。

植物の特徴や育て方を共有し、成長の喜びを一緒に分かち合うなど、地域のコミュニティを育むきっかけとなっている。



イ 未来の竹の塚を考えるきっかけづくりの取り組み

名称[開催時期]	目的及び内容
アイデアカード [R5.7～]	「あったらいいな！こんな竹の塚」というテーマで募集しているアイデアカードは約300枚集まり、まちの未来に期待する声や展示やイベントを見て感じたこと等が多く寄せられた。 その中で、「まちに駄菓子屋さんがほしい」という声から、ミントポ店内に駄菓子コーナーを設置。小学生以下の子どもは、ミントポ内のガチャガチャで入手できる「子ども専用通貨」を使って、駄菓子やミントポの一部メニューを食べることができるようにすることで、子供たちが気軽に遊びに来れるような工夫している。   
TAKENOTSUKA COFFEE TALK [R7.6.12]	ミントポとつながりのある足立区で活躍する方々をゲストへお迎えし、コーヒーを飲みながら現在の取り組みや今後の活動における企みについてお話しいただくトークイベントを開催(19人が参加)。「足立区で活躍する方と繋がれてよかった」「もっと詳しく聞きたかった」等といった好評の声を頂いた。また、「竹の塚のキーマンになっている方や地域のこだわりをもって働かれている方の話をもっと聞きたい」といった声もあった。   